

番号	2-1-5		表題	芝浦水再生センター東系における窒素除去率向上に関する取り組み		
内 容	<p>芝浦水再生センターでは、コロナ禍の終焉に伴い、流入負荷がコロナ禍以前に戻りつつあり、今後さらなる流入負荷上昇が予想されている。当センター東系では、同時硝化脱窒処理であるものの、処理水量に対して返送汚泥ポンプが過少であり、昨年度冬季には全窒素濃度 28mg/L まで上昇する等、窒素処理において厳しい運転状況となっている。</p> <p>そこで、新たにステップ流入を活用したところ、窒素除去率の向上が確認できた。同時硝化脱窒法でのステップ流入を効果的に活用するため、ステップ比や風量設定値を変更し、窒素除去率との関係を調査した。それらの結果をもとに実際に運用を行い、昨年度冬季の窒素除去率と比較を行った。</p>					
キーワード	窒素除去率向上、ステップ流入、風量設定					
処理区名	芝浦処理区	位置区分	水再生センター			
職種区分	環境検査	施策区分	維持管理向上			
状態区分	調査 研究	新規性				
実施年度	令和 6 年度	全体期間	令和 5 年度～令和 7 年度			
担当部署	中部下水道事務所芝浦水再生センター水質管理担当					
発 表	局内	令和 6 年度 水質技術研究発表会				
履 歴	局外	令和 7 年度 第 62 回下水道研究発表会				
調査方法	直営調査					
関連情報						